

阿波おどり事業企画運営業務の委託事業者の選定について

1 応募事業者

キョードー東京共同事業体

代表者 株式会社キョードー東京	東京都港区南青山五丁目 2 番 1 号 代表取締役社長 山崎芳人
株式会社キョードーファクトリー	東京都港区南青山五丁目 2 番 1 号 代表取締役社長 前田三郎
株式会社ネオビエント	徳島市南末広町 4 番 54 号 代表取締役 藍原理津子

2 阿波おどり事業企画運営事業者選定委員会の審査結果

選定委員会は、申請団体について、書面審査及び申請団体からのプレゼンテーション並びに質疑・応答を踏まえ、慎重かつ厳正に審査を行った結果、当該団体を委託候補者に選定している。

(1) 選定理由

申請団体は、財政基盤がしっかりした代表企業を中心に、地元企業を構成員に加えることで、財政面及び運営体制面で、阿波おどり事業を安定的かつ確実に運営することができると思われる。

また、体験型観光の充実やインバウンド誘客などに新たな提案がされ、これまでの実績や協力企業の状況から、こうした提案を実現していくことが十分に可能と考えられる。

さらに、徳島市の観光振興の中で、阿波おどりの重要性を認識するとともに、阿波おどり実行委員会をはじめ、おどり団体、地域住民、地元企業などと協調して事業に取り組む意欲がある。

(2) 申請団体の総得点 800 点/1,000 点満点

なお、最低基準点は、600 点である。

(3) 選定委員会委員名簿

氏名	所属等	備考
河野 匡哉	後藤会計事務所 公認会計士	
清水 理	本家大名連 連長	
高畑 富士子	株式会社ときわ 代表取締役社長	
玉 真之介	徳島大学教授	
豊永 寛二	小出・豊永法律事務所 弁護士	委員長

注) 氏名の 50 音順。

(4) 阿波おどり事業企画運営事業者選定委員会審査結果 別紙 1 のとおり

平成 31 年 3 月 28 日

阿波おどり実行委員会
委員長 松原 健士郎 殿

阿波おどり事業企画運営事業者選定委員会
委員長 豊永 寛二

阿波おどり事業企画運営事業者選定委員会の審査結果について

阿波おどり事業企画運営業務の委託事業者として応募のあった団体について審査した結果については、別紙のとおりです。

以 上

阿波おどり事業企画運営事業者選定委員会審査結果

当選定委員会は、申請団体について、書面審査、申請団体からのプレゼンテーション及び質疑・応答を踏まえ、慎重かつ厳正に審査を行った結果、当該団体を委託候補者に選定します。

1 選定理由

申請団体は、直近の決算で、売上高が約 213 億円、経常利益が約 6.7 億円、利益剰余金が約 39 億円の代表企業を中心に、本市で事務局を開設できる地元企業を構成員に加えることで、財政面及び運営体制面で、阿波おどり事業を安定的かつ確実に運営することができると考える。

また、にわか連の実施場所の拡充や販売はっぴでのにわか連参加など、体験型観光の充実による観光誘客の提案や、複数の対面販売の実施などチケット販売促進策の提案のほか、多言語の案内看板や外国語マニュアルの作成、外国人観光客によるにわか連として「ワールド連」の創設などインバウンド対策の提案がある。このほかにも、とくしまマルシェとのコラボにより、徳島の食材や加工品を活用した日中のイベントなどにより、まち全体のさらなるにぎわいづくりの提案がされている。さらに、こうした提案が、年間約 2,000 公演の興行実績や、数々の文化施設の指定管理者としての実績に加え、チケット販売に高い実績のある「ぴあ」など複数の協力企業や、全国に関連企業を有する代表企業のネットワークの状況から、十分に実現可能と考える。

加えて、徳島市の観光振興の中で、阿波おどりの重要性を認識するとともに、阿波おどり実行委員会をはじめ、おどり団体、地域住民、地元企業などと協調して事業に取り組む意欲がある。

2 申請団体の総得点 800 点/1,000 点満点

なお、最低基準点は、600 点である。

3 採点表 別紙のとおり

別紙 阿波おどり事業企画運営事業者選定委員会 採点表

審査項目	様式	審査の観点	配点	合計
1 安全かつ盛況な阿波おどりの開催と、地域の伝統芸能としての継承			250	220
(1) 事業の企画運営方針 (2) 集客力の高い演出方法などの提案 (3) 事業の質の確保・向上	10-1	安全かつ盛況に実施するための具体的な内容で実現性があり、効果的な方法がとられているか	150	134
	10-2			
	10-3	地域の伝統芸能として継承するための具体的な内容で実現性があり、効果的な方法がとられているか	100	86
2 地域の活性化への貢献度			200	170
(1) 地域への貢献 (2) 地域との連携	10-8	地元雇用や地元企業への発注など、具体的、現実的に地域への貢献が期待できるか	100	85
	10-9	公平な立場で地域や関係機関との連携や協力体制が望めるか	100	85
3 安定した人的・物的能力の保有状況			200	162
(1) 事業の適正な実施	10-4	安定かつ継続的な運営を行ううえで適正な運営ができる体制が整っているか	100	85
(2) 事業実施体制等	10-6	職員の労働条件等の整備は適正であり、職員の配置についても適正で無理のないものとなっているか	50	39
(3) 安全管理・危機管理	10-7	緊急時、災害時等におけるの防止及び危機管理について適切な方針を有しているか	50	38
4 効率的な運営			200	173
(1) 収支計画	10-5	収支の内容が適正で、実現可能な計画となっているか	100	88
		サービスの低下につながらない範囲で、コスト削減が図られ、無理のない収支計画となっているか	50	43
		収支計画と事業計画の整合性が図られているか	50	42
5 納付金の提案	10-5	阿波おどり実行委員会への納付金の提案内容	150	75
計			1,000	800

注) 委員1人あたり200点満点×5人=1,000点満点